

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 木下 潔
 (氏名) 牧野 裕幸

TEL 0587-95-5211

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	235,945	△16.7	9,803	5.6	11,481	26.7	7,177	336.1
21年3月期第3四半期	283,354	—	9,282	—	9,060	—	1,645	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	79.46	79.46
21年3月期第3四半期	18.23	18.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	253,232	157,204	60.5	1,695.91
21年3月期	226,584	150,379	64.8	1,625.63

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 153,181百万円 21年3月期 146,822百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	24.00	—	8.00	32.00
22年3月期	—	8.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	327,000	△3.1	15,500	—	17,500	—	12,000	—	132.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 94,234,171株 21年3月期 94,234,171株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,910,198株 21年3月期 3,917,024株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 90,322,251株 21年3月期第3四半期 90,302,516株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成21年10月29日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。

2.平成22年3月期の期末配当予想は、先行きが不透明な昨今の情勢から、具体的な金額をお示しすることが難しく、現時点では未定であります。四半期ごとの業績を勘案しながら決定する見込みであり、予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

3.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	246,000	△0.9	6,000	—	10,000	—	7,500	—	83.03

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、各国での景気対策の効果を背景に消費が拡大したことで企業業績が改善し、世界経済全体が緩やかな回復基調となりました。

自動車業界におきましては、自動車販売促進策の効果により日本、中国、インド、欧州では、前年同四半期に比べ、販売台数が増加しました。また、自動車販売促進策が終了した米国、ドイツでも販売台数が前年同四半期並となり、全体としては、堅調に推移しました。

このような環境の中で、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は235,945百万円と、前年同四半期に比べ47,409百万円(16.7%)の減収となり、利益につきましては、連結営業利益は9,803百万円と、前年同四半期に比べ521百万円(5.6%)、連結経常利益は11,481百万円と、前年同四半期に比べ2,421百万円(26.7%)、連結四半期純利益は7,177百万円と、前年同四半期に比べ5,532百万円(336.1%)それぞれ増益となりました。

a 事業の種類別セグメントの業績は、次の通りであります。

(自動車用部品事業)

自動車用部品事業は全体的に売上が減少し、売上高は231,520百万円と、前年同四半期に比べ46,418百万円(16.7%)の減収となりました。

(一般電機部品及びその他の事業)

一般電機部品及びその他の事業は、売上高は4,424百万円と、前年同四半期に比べ992百万円(18.3%)の減収となりました。

b 所在地別セグメントの業績は、次の通りであります。

(日本)

客先生産台数の減少などにより、売上高は175,505百万円と、前年同四半期に比べ32,528百万円(15.6%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少や円高の影響があるものの、合理化等に積極的に取り組んだことにより3,421百万円と、前年同四半期に比べ879百万円(34.6%)の増益となりました。

(北米)

客先生産台数の減少などにより、売上高は41,718百万円と、前年同四半期に比べ5,550百万円(11.7%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少があるものの、合理化等の効果により835百万円と、前年同四半期に比べ1,427百万円(一%)の増益となりました。

(アジア)

客先生産台数の減少などにより、売上高は35,209百万円と、前年同四半期に比べ6,516百万円(15.6%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少などにより4,538百万円と、前年同四半期に比べ1,812百万円(28.5%)の減益となりました。

(その他の地域)

客先生産台数の減少などにより、売上高は11,864百万円と、前年同四半期に比べ3,787百万円(24.2%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少があるものの、合理化等の効果により583百万円と、前年同四半期に比べ466百万円(395.1%)の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は253,232百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,648百万円増加しました。

これは、主に売上債権の増加などによるものです。

(負債)

負債は96,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,824百万円増加しました。

これは、主に仕入債務の増加などによるものです。

(純資産)

純資産は157,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,825百万円増加しました。

これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、43,597百万円となり、前連結会計年度末より18,589百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は20,345百万円となりました。これは主に減価償却費12,413百万円と仕入債務の増加額15,103百万円等による増加と、売上債権の増加額19,123百万円等による減少の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,716百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8,659百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は4,169百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入7,451百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、日米欧での雇用情勢悪化による消費の冷え込みやデフレ定着による企業業績悪化が懸念されますが、一方、中国の内需拡大、アジア各国の中国向け輸出の増加により、アジア各国が景気回復を先導し、全体としては、緩やかな回復傾向が見込まれます。

自動車業界におきましては、一部の国で自動車販売促進策が終了し、販売台数の下振れリスクがありますが、全体では中国での販売増や各国の自動車販売促進策の効果を受け、販売台数は前年同期並と見込まれます。

このような経済状況のもと、様々な施策を実行することで確実に利益が出せる経営体質を構築し、商品力向上や新製品開発を加速させ、新たな付加価値を創出してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、自動車生産台数の増加が見込まれることや、グループを挙げての原価改善活動に継続して取り組むことにより利益が増加する見通しとなったため、平成21年10月29日に公表した業績予想を修正し、売上高327,000百万円、営業利益15,500百万円、経常利益17,500百万円、当期純利益12,000百万円を見込んでいます。なお、今後の為替レートを1USドル=90円、1ユーロ=125円と想定しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,903	16,060
受取手形及び売掛金	54,869	35,766
有価証券	20,148	12,564
商品及び製品	6,443	5,994
仕掛品	11,898	10,763
原材料及び貯蔵品	3,825	3,591
その他	9,680	12,854
貸倒引当金	△55	△71
流動資産合計	132,714	97,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,078	27,689
機械装置及び運搬具（純額）	22,724	26,908
その他（純額）	23,798	25,459
有形固定資産合計	73,601	80,057
無形固定資産		
のれん	49	152
その他	2,614	2,984
無形固定資産合計	2,663	3,136
投資その他の資産		
投資有価証券	28,003	26,840
その他	16,372	19,148
貸倒引当金	△122	△122
投資その他の資産合計	44,253	45,867
固定資産合計	120,518	129,061
資産合計	253,232	226,584

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,992	28,928
短期借入金	3,071	4,553
1年内返済予定の長期借入金	304	268
未払法人税等	1,340	111
賞与引当金	2,793	4,463
製品保証引当金	3,880	5,109
その他の引当金	128	136
その他	14,214	13,057
流動負債合計	69,725	56,630
固定負債		
長期借入金	8,343	1,308
退職給付引当金	17,111	17,360
その他の引当金	485	521
その他	361	384
固定負債合計	26,302	19,574
負債合計	96,028	76,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,134	25,142
利益剰余金	117,808	112,118
自己株式	△7,034	△7,047
株主資本合計	158,763	153,069
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	597	△1,322
為替換算調整勘定	△6,180	△4,923
評価・換算差額等合計	△5,582	△6,246
新株予約権	480	360
少数株主持分	3,542	3,196
純資産合計	157,204	150,379
負債純資産合計	253,232	226,584

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	283,354	235,945
売上原価	249,262	204,447
売上総利益	34,092	31,497
販売費及び一般管理費	24,810	21,693
営業利益	9,282	9,803
営業外収益		
受取利息	567	314
受取配当金	200	94
持分法による投資利益	132	—
為替差益	—	677
助成金収入	—	570
その他	426	402
営業外収益合計	1,327	2,059
営業外費用		
支払利息	310	161
持分法による投資損失	—	35
為替差損	1,112	—
その他	125	183
営業外費用合計	1,549	381
経常利益	9,060	11,481
特別利益		
新株予約権戻入益	0	12
特別利益合計	0	12
特別損失		
投資有価証券評価損	4,534	—
特別損失合計	4,534	—
税金等調整前四半期純利益	4,526	11,494
法人税等	2,188	3,854
少数株主利益	692	463
四半期純利益	1,645	7,177

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,526	11,494
減価償却費	14,173	12,413
のれん及び負ののれん償却額	38	26
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,835	△1,669
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	122	△1,212
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△336	△405
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△122	△35
受取利息及び受取配当金	△768	△409
支払利息	310	161
為替差損益 (△は益)	1,740	△881
持分法による投資損益 (△は益)	△132	35
有形固定資産除売却損益 (△は益)	176	94
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,534	—
売上債権の増減額 (△は増加)	19,013	△19,123
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△770	△1,713
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,379	15,103
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△126	396
その他	△795	2,786
小計	26,338	17,045
利息及び配当金の受取額	799	408
利息の支払額	△302	△158
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,178	3,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,656	20,345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	2,000	3,000
有形固定資産の取得による支出	△16,910	△8,659
有形固定資産の売却による収入	195	53
投資有価証券の取得による支出	△5,278	△163
投資有価証券の売却による収入	41	7
子会社株式の取得による支出	△256	△36
貸付けによる支出	△148	△243
貸付金の回収による収入	193	195
その他	△2,084	128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,245	△5,716

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,040	△1,610
長期借入れによる収入	—	7,451
長期借入金の返済による支出	—	△132
リース債務の返済による支出	△56	△83
配当金の支払額	△4,339	△1,447
少数株主への配当金の支払額	△698	△187
少数株主からの払込みによる収入	463	175
自己株式の取得による支出	△3	△1
その他	135	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,540	4,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,891	△208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,022	18,589
現金及び現金同等物の期首残高	35,419	25,008
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	80	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△12	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	94	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,560	43,597

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社グループは、スイッチ類、シートベルト、キーロック、シフトレバー等、自動車用部品の専門メーカーであり、当該部品の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社グループは、スイッチ類、シートベルト、キーロック、シフトレバー等、自動車用部品の専門メーカーであり、当該部品の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び、営業利益の生じているセグメントの営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	182,115	47,164	38,439	15,635	283,354	—	283,354
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,918	103	3,286	15	29,324	△29,324	—
計	208,033	47,268	41,725	15,651	312,678	△29,324	283,354
営業利益(損失△)	2,542	△592	6,350	117	8,418	864	9,282

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	150,294	41,643	32,177	11,829	235,945	—	235,945
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,210	75	3,032	34	28,353	△28,353	—
計	175,505	41,718	35,209	11,864	264,298	△28,353	235,945
営業利益	3,421	835	4,538	583	9,378	425	9,803

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) アジア……………中国、台湾、フィリピン、タイ

(3) その他の地域…イギリス、チェコ、ブラジル、ベルギー

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	47,123	42,035	16,294	105,453
II 連結売上高（百万円）				283,354
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.6	14.8	5.8	37.2

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	41,178	37,679	12,520	91,378
II 連結売上高（百万円）				235,945
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	17.4	16.0	5.3	38.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) アジア……………中国、台湾、フィリピン、タイ

(3) その他の地域…イギリス、チェコ、ブラジル、ベルギー

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 連結売上高明細

部 門		前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		増減(百万円)	増減率(%)	(参考)前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			金額(百万円)	構成比(%)
自動車用 部品 事業	スイッチ類	100,071	35.3	88,485	37.5	△11,586	△11.6	119,160	35.3
	シートベルト	59,579	21.0	49,754	21.1	△9,825	△16.5	71,114	21.1
	キーロック	59,380	21.0	43,382	18.3	△15,998	△26.9	70,187	20.8
	シフトレバー	22,918	8.1	19,707	8.4	△3,211	△14.0	27,139	8.0
	ステアリングホイール	9,576	3.4	8,479	3.6	△1,097	△11.5	11,197	3.3
	自動車用ミラー	9,952	3.5	8,058	3.4	△1,894	△19.0	11,791	3.5
	装飾品	3,852	1.4	2,976	1.3	△876	△22.7	4,601	1.4
	その他	12,607	4.4	10,675	4.5	△1,932	△15.3	15,216	4.5
小 計	277,938	98.1	231,520	98.1	△46,418	△16.7	330,409	97.9	
一般電機部品及び その他の事業	5,416	1.9	4,424	1.9	△992	△18.3	7,008	2.1	
売上高合計	283,354	100.0	235,945	100.0	△47,409	△16.7	337,417	100.0	